議員活動自己検証シート（公約の取組）　（対象期間：令和６年度）

会派名	公明党
期数　（議員歴）	２期　（５年）

議員名	検証項目（10項目）	所属委員会　等
中原秀樹	【検証値の捉え方】 １年間の議員活動・取組内容については・・・・・ 「ほぼ満足している」=”〇” 1.0 「さらに努力する余地があると思う」=”△” 0.5 「思ったような取組ができていない」=”▼” 0	総務常任委員会 予算決算常任委員会　副委員長 議会運営委員会 議会活性化等検討特別委員会

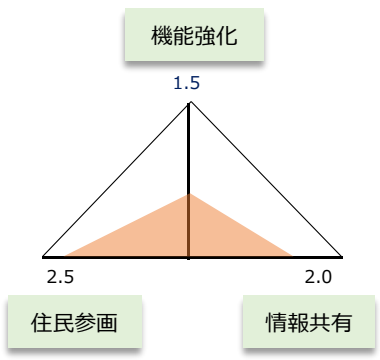
公約を検証する背景（根拠）	**議会基本条例前文「市民の代表として選ばれている議員は，市民の負託にこたえる責務を負っている」／21条「この条例の目的及び趣旨の達成状況について検証を行う」**
検証の対象／分野	**議会基本条例第４条　議員活動の原則／議会活動の活発化「住民参画」「情報共有」「機能強化」分野の取組について**（早稲田大学マニュフェスト研究所文献引用）
検証方法	**「公約」について，成果如何に捉われず，その実現に繋がる年間の議員活動・取組内容を自己検証する（本シートに記載する公約内容は自由選択：重複可）**

議会基本条例第４条（議員活動の原則）

❶ 選挙によって選ばれた市民の代表であることを自覚し，市政の課題全般について市民の思いを的確に把握し，市民全体の福祉の向上をめざすこと。【情報共有】【住民参画】
❷ 議会が言論の場であること，及び合議制機関であることを認識し，議員相互間の自由な討議を重んじること。【機能強化】
❸ 日常の調査及び研修活動を通じて自らの資質の向上に努めること。【機能強化】
❹ 地方自治の本旨にのっとり，政策，条例，意見書等の議案を提出する努力をすること。【機能強化】
❺ 市政の課題に関する論点を市民に明らかにするため，一般質問を一問一答方式により行うこと。【機能強化】【情報共有】

（公約1）若者が希望を持って生活できるまちづくり

人口減少、少子高齢化の歯止めをかけ、子育てしやすい環境の整備

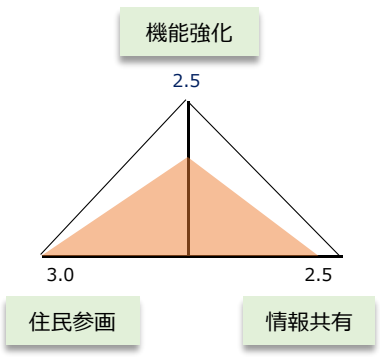


		検証	１年間の主な活動・取組内容，または，取り組めなかった事項と理由　等 注）検証に繋がる活動等，成果等（事業の見直し等）を記入すること。
住民参画 3point	(1) 住民や地域との積極的な対話（ニーズの把握）	〇	地域イベントや消防団活動に参加する中で、子育てしている20代～30代、同年代の知人と世間話を交えながら、困り事や相談、意見など聞かせてもらった。
	(2) 地域と行政・関係機関がツナガルための助言・支援	△	
	(3) 住民自治組織活動や地域活動など，まちづくりへの参加・実践	〇	
情報共有 3point	(4) 現場調査・現状確認，聞取り，先進事例等の調査研究活動	△	本市では学校や保育施設で、生徒や児童が減少し厳しい状況であるにも関わらず、自分としては直接現場に入っての聞き取りがあまり出来なかった。そのため、本会議では具体的な質問に至らなかった。自身の広報誌は、議会終了後に発行を決意しながらも今年度2回の発行に終わった。ホームページの更新が遅いと指摘された。
	(5) 住民の疑問や地域の意見を反映した本会議や委員会での発言・行動	△	
	(6) 地域等における報告会の開催やＳＮＳ，チラシ・広報誌等による情報発信	〇	
機能強化 4point	(7) 一般質問等による政策や事業改善の提案	△	公約に掲げている人口減少・少子高齢化の歯止めについては、公共交通を市民がもっと使いやすいものにと考えてきたが、勉強不足で地域に即した考えがまとまらない。他の議員が先進地域で視察をされる中で、自分は、機能強化の活動が弱いと痛感した。スキルアップの研修会や条例や制度の検証などへの取組みが足りていなかったと反省
	(8) 議員間討論への積極的な参加，会派内での情報共有の徹底	△	
	(9) 各種計画書の分析，条例等との照らし合わせや既存制度との比較検討	▼	
	(10) スキルアップのための研修会・勉強会等への参加	△	

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	値合計
1.0	0.5	1.0	0.5	0.5	1.0	0.5	0.5	0.0	0.5	6.0

（公約2）中山間地域の元気な農業、商工業の振興

農業や畜産、林業の活性化。農業者の人材確保と働きやすい環境の整備

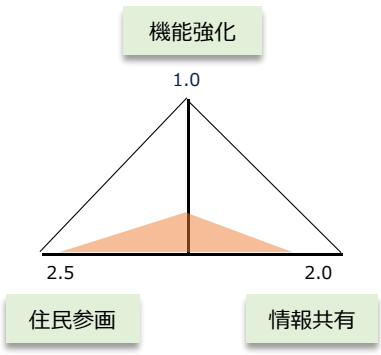


		検証	１年間の主な活動・取組内容，または，取り組めなかった事項と理由　等
住民参画	(1) 住民や地域との積極的な対話（ニーズの把握）	〇	畜産農家や酪農業の方から餌代が高騰に伴い多くの相談を受けた。直接電話を受け、訪問しての対話が多かった。執行部にも相談したり、国会議員にも物価高で経営をやめる人が増えていることを細かく状況報告した。
	(2) 地域と行政・関係機関がツナガルための助言・支援	〇	
	(3) 住民自治組織活動や地域活動など，まちづくりへの参加・実践	〇	
情報共有	(4) 現場調査・現状確認，聞取り，先進事例等の調査研究活動	△	農業従事者から荒廃する農地問題や後継者不足、法人組合の運営課題や鳥獣対策問題など聞き取りをした。本会議の一般質問では、古くなった用水路の問題や鳥獣対策についての質問に至った。自身の広報誌は、議会ごとに発行を決意しながらも今年度2回の発行に至った。ホームページの更新が少ないと指摘を受けた。
	(5) 住民の疑問や地域の意見を反映した本会議や委員会での発言・行動	〇	
	(6) 地域等における報告会の開催やＳＮＳ，チラシ・広報誌等による情報発信	〇	
機能強化	(7) 一般質問等による政策や事業改善の提案	〇	公約に掲げている中山間地域の元気は、農業、商工業の振興の活性化にある。増え続けるシカやイノシシの駆除はもちろんのこと、近年危険を感じている熊の被害にも注視して課題解決に調査研究が必要と感じ、聞き取りをして行政へ状況報告を行なった。自分の質問は、上辺だけの内容になる傾向があった。機能強化の面では制度の比較検討が不足していることも感じた。
	(8) 議員間討論への積極的な参加，会派内での情報共有の徹底	△	
	(9) 各種計画書の分析，条例等との照らし合わせや既存制度との比較検討	▼	
	(10) スキルアップのための研修会・勉強会等への参加	〇	

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	値合計
1.0	1.0	1.0	0.5	1.0	1.0	1.0	0.5	0.0	1.0	8.0

（公約3）高齢者、障がい者への福祉の充実

誰一人取り残さない生活交通の見直し、高齢者も暮らしやすい地域づくり



		検証	１年間の主な活動・取組内容，または，取り組めなかった事項と理由　等
住民参画	(1) 住民や地域との積極的な対話（ニーズの把握）	〇	高齢者・障がいのある方は買い物や病院など交通に問題を抱えている。知人や御家族から相談を受け支援策について聞取活動の実施をした。また生活交通の行き届いていない地域では運転免許証の返還で、大きな不安を抱えていることなどの意見を聞くことができた。
	(2) 地域と行政・関係機関がツナガルための助言・支援	△	
	(3) 住民自治組織活動や地域活動など，まちづくりへの参加・実践	〇	
情報共有	(4) 現場調査・現状確認，聞取り，先進事例等の調査研究活動	▼	住民の抱える交通不便に対応すべく、一般質問で行政に課題定義をしてきた。しかし、代案説明に必要な先進地域の調査が不足していたことや、広い範囲での住民調査が出来ていないことから本市に適した前向きな回答は引き出せなかった。広報誌は、毎回発行を目指していたものの年2回の発行に終わっている。
	(5) 住民の疑問や地域の意見を反映した本会議や委員会での発言・行動	〇	
	(6) 地域等における報告会の開催やＳＮＳ，チラシ・広報誌等による情報発信	〇	
機能強化	(7) 一般質問等による政策や事業改善の提案	△	一般質問では公共交通に関することは質問したが、独居生活での課題も多く聞いている。研修会や勉強会でスキルアップが必要と感じた。議会中の議員間討議が苦手であまり出来ていない状況。自分自身の考えは明確になっているが、他人の意見を理解する力や、本市の条例や既存制度の比較など議員としての勉強が不足していることが自分自身の課題である。
	(8) 議員間討論への積極的な参加，会派内での情報共有の徹底	▼	
	(9) 各種計画書の分析，条例等との照らし合わせや既存制度との比較検討	▼	
	(10) スキルアップのための研修会・勉強会等への参加	△	

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	値合計
1.0	0.5	1.0	0.0	1.0	1.0	0.5	0.0	0.0	0.5	5.5

公約に係る年間の議員活動・取組状況の検証と次年度の目標設定や課題の週出

若者が希望を持って生活できるまちづくり
人口減少、少子高齢化の歯止めをかけ、子育てしやすい環境の整備
6.0

中山間地域の元気な農業、商工業の振興
農業や畜産、林業の活性化。農業者の人材確保と働きやすい環境の整備
8.0

高齢者、障がい者への福祉の充実
誰一人取り残さない生活交通の見直し、高齢者も暮らしやすい地域づくり
5.5

活動の一コマ
「石城の里ファーム」を視察

課題の抽出・次年度の目標設定	
	これまで聞き取りしていた子育て世代の範囲を拡大して、今後の学校再編など大きな課題に向かい地域課題をしっかりと調査する。送迎や待機児童の課題に既存制度の見直しなど調査研究していく。
	農業振興については、物価高で肥料や飼料などが高騰して経営が難しい状況を国に対してもしっかり要望活動していく。荒廃地や山林の管理を地域で行える仕組みづくりに加えて、農作物被害の根源である鹿、イノシシ、猿、熊などの鳥獣被害対策の継続
	AIオンデマンドバスが試行的に運行されることが決まり、市内のみならず周辺部の交通問題にどのように生かされるのか。常会機能が縮小する中で、独居生活者も増え近隣住民での高齢者・障がい者の見守り体制を考えていく。

無断複製・転用はご遠慮ください。

三次市議会　議会運営委員会